

# 翌檜新聞



志 寛 録

第6号  
2019.4.26  
第73代  
伊敷中学生会



# 新入生233名が仲間入り

## ようこそ伊敷中学校へ

### 入学式

4月8日(月)伊敷中体育館で入学式が行われました。



呼名され、元気よく返事をする新入生

新たに伊敷中生となった二、三名が名前を呼ばれ、元気に返事をすると姿は立派でした。

### 生徒会入会式

入学式の後には生徒会入会式が行われました。伊敷中全員の生徒会の一員です。伊敷中の生徒会がどのようなものか、新入生はもちろんだが、二年生も再確認できるように、今年も「伊敷中の一日」を紹介するソシオドラマを行いました。

## みんなできっくる生徒会

伊敷中の生徒会活動の一つ「ソシオドラマ」は、理解することのできるでしょう。ソシオドラマの後には、生徒手帳の伝達を行いました。生徒手帳には、伊敷中学生会のことを書いてあります。新入

生を代表して、生徒手帳を受け取った一年一組の町田未さん(仮)は、「ソシオドラマを見て、緊張がすくにはなりました。私もソシオドラマに出てみたいと思います。」と笑顔で話してくれました。

(芹ヶ野愛梨)



生徒手帳伝達の様子

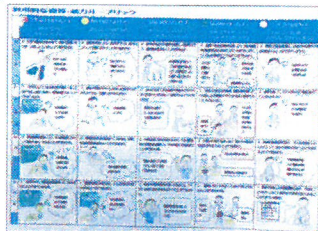
式辞の中で、寺園校長先生は、「人は出会うべきときに会おうべき人と出会う。」と、伊敷中で新たな出会いを迎える新入生に言葉を述べられました。また、新入生代表の言葉も述べた一年一組の峯苦菜志くんは、「とても緊張したけど、大切な経験になった。伊敷中生として頑張りたい。」と、これからの生活への意欲を見せてくれました。

一、二年生も進級し、新たな伊敷中学校の一年がスタートしました。全校生徒、先生方一人一人の力で伊敷中は創られます。一人一人の力が小さくても、一人一人の力が一つになると大きな力になります。一人一人の力を結集させて、今年度もPOWER OF IFE 伊敷でよりよい伊敷中学校を創っていきましょう。

(宮ノ前那海)

### 伊敷中で目指す力

前回 Society5.0とは、超スマート社会と言われるやがてやってくる社会だということを紹介しました。人工知能が私たちの生活に入り込んでくる社会、そのような社会を生きていく私たちがどんな力を身に付ける必要があるか、それをまとめたものが伊敷中学校で身に付けることを目指している「汎用的な資質・能力」です。生徒のみなさんにも分かちあすように、イラストが入った「ルーブリックシート」を一人一人が持っていると思います。



ルーブリックシート

一、二年生にとってはこの「汎用的な」という言葉も馴染みがないものだと思います。「汎用的」とは「広くいろいろな方面に用いること」という意味があります。だから、「汎用的な資質・能力」というのは、「いろいろな場面が必要となる力」ということになりそうです。

伊敷中で身に付けることを目指している「汎用的な資質・能力」は五つあります。今回は、その五つの力について説明したいと思います。

まず一つ目は、「課題発見力」です。これは「課題を見つけ、解決しようとする力」です。私たちの身の回りにはたくさん課題があります。その課題を見つける力は普段

二つ目は「情報活用力」です。これは、「目的に合った情報を集め、活用する力」です。私たちに身の回りにはたくさん情報がありますが、自分が必要なもの、また真実の情報を集める力になります。三つ目は「論理的思考力」です。「様々な視点から筋道立てて自分の考えを説明する力」です。自分の考えをもつときには、その根拠をもつことも意識してみてほしいです。四つ目は「協働する力」です。これは、「他者と意見交換をし、協力し、よりよい考えを作り出す力」です。自分の意見を他の意見も大事にする心を心掛けていきたいです。

### 生徒会の窓

Do you have goals? 新年度が始まりましたが、みなさんは目標を立てましたか。もし、目標を立てたならば、自分の行動や気持ちに変化は表れていますか。もし、表れていないのなら、それは本当の目標とは言えない、心の底から思っていることではないと思います。

例えば「テストで一位を取りたい」というような目標を立てたとしても、この人の行動はどのようなものになるでしょうか。勉強の時間が増えたり、授業態度が変わったりするということが考えられます。

自分が、本気で心の底から立てた目標は人の行動を変えます。ぜひ、学習面・運動面だけでなく生徒会の視点から本々の目標を立ててみてほしいです。そうすることで一人一人の意識が変わり、その意識が行動を変え、その行動が学校をよりよくなるのです。また、学校では学校目標も立てていると思います。学校目標は一年間全校全員で目指すものです。そのため、どのような行動をしていくべきなのか、学級でじっくり話し合い、志向の口で披露してください。

今年度の目標を定めて、私たちの行動で学校を進化させていきましょう。

(亀田周柱)



昨年の志向の日の様子

# 特集 伊敷中のあるべき姿とは

## 各専門班の活動を確認しよう

新年度が始まって一年生のみなさんは中学校生活を過ごす中で戸惑う場面も多いのではないのでしょうか。そこで各専門部の年間徹底事項の中から特に気を付けてほしいことを紹介します。

### 生活部

生活部の仕事の中には、「身なりを正しくする」ことを意識するために「身なり点検」があります。

日常生活から身なりを整えることは、心を整えることにもつながります。また、正しい身なりで過ごすことは、自分と接する相手に礼を尽くすことにもつながります。

伊敷中では、普通科から身なり正しく過ごすために点検を行います。点検は行いますが、自分自身で自分の身なりを整



身なり点検中は周りの人は黙想をする。静かな環境で点検をします。

えることができるというのが、一番良いです。正しく誇れる身なりで生活ができるようにしましょう。

### 庶務部

庶務部では、「公届の充実」と「かばん棚の整理整頓」を年間徹底事項として活動しています。

かばんを入れるときは、向きもチャックの三つを注意して入れるようにしましょう。また、時間も意識してください。朝は7時55分以内、昼は給食終了後15分以内にかばんをかばん棚に片付けることになっています。

かばん棚をきれいに保つと教室全体が整って見え、学習環境を整えることができます。皆さんで美しいかばん棚を作りましょう。

【注意】  
① 正かばんの持ち手は右補助かばんの持ち手は左  
② チャックは閉じる。  
③ 補助かばんのひもは取ってかばんに入れる。

### 美化部

美化部が徹底したいことは、美化作業です。三大伝統の一つである朝作業は、週審の生徒が各作業場所での清掃、掃き目、あいさつ運動を7時45分



- 左の人を越さない
- 左の人に添う
- 左から右に掃く

開始しています。無言作業と気付き作業をすらすら行うようにしてください。掃き目は週審の副班長が校庭をほつぎではわきます。掃き目のポイントは左の三つです。

### 図書部

図書部では、年間徹底事項の一つである「読書の徹底」に力を入れていきます。朝読書は、月・金の週一回、朝読書の時間を確保して行う15分間の読書活動です。現時点での課題は、本忘れ

### 体育部

が多いことと私語が多いこと。朝読書の時間は、忙しい学校生活の中で本に親しみ、読書に関心をもちてもらえるための大切な時間です。課題をしっかりと改善できるようにしましょう。

伊敷中の体育服には正しい着方があります。伊敷中の体育服を元気に着こなすために、次のことに意識してください。まずは、セツケンです。SS(三三)の文字の二センチ下しっかりとつけること。この時セツケンはお前のみです。二つ目はシャツをしつかりスポーツに入れることです。三つ目はスポンを腰の位置ではくことです。伊敷中では用事がない人以外は外に出るの帽になっていきます。その際、帽子も忘れずにながらみましょう。



体育服の正しい着方

### 保健部

保健部では、年間徹底事項である「トイレ(リッパ)点検」「給食前着席の徹底」を中心に活動しています。その中でも給食前着席が課題です。伊敷中では4時間目終了後一年生は10分以内、二・三年

生は8分以内で着席できるように呼び掛けを行っています。給食前に着席し手洗いを済ませ、着席することは、給食の準備がスムーズに行われるための大事なことです。給食を食べる時間を多く確保するために、給食前着席を意識してください。



給食前の様子

### 広報部

広報部の年間徹底事項に「あいさつ点検」があります。みなさんは、元気なあいさつができていますか、新学年が始まり、新たな出会いもたくさんあると思います。そんな時、人と人をつなぐ役割をするのがあいさつです。また元気なあいさつを意識し、誰に対してもあいさつをするのは、自分自身の心を

### 学習部

学習部の取組の一つに「二着一黙」があります。その名の通り授業開始二分前には着席し、一分前に黙想するというものです。

二着一黙の目的は授業前に心構えを作ることと授業と休み時間の区別を付けることです。また、黙想をしている間は、前の授業で学習したことを思い出したり、今日の授業でどんなことを意識したいかを考えたりすることで、より充実した活動にすることができると考えられています。



二着一黙の様子

### 本部

伊敷中学校では、全校朝会等の移動の際、「無言移動」を行っています。無言移動の目的は、「移動を速やかにする」、「会話を禁ずる」ことです。

明々々々としていなければならない。また、日頃から無言移動が当たり前に身に付いていれば、もし災害などが起こっても冷静に判断し行動できるという利点も挙げられます。

しかし、今の現状として、「こそ話を人がいる」という課題が挙げられます。みんなが「自分だけが大丈夫」と思ってしまうと、静かな状態は作れません。また、無言移動の目的を理解していないからこそ、つい話してしまうという行動をしてしまっているのではないかと考えられます。

無言移動はなぜするのか。ということを考えて考えてほしいと思います。

### 無言移動の様子



### 編集後記

今回で第6号、平成最後の聖櫛新聞となりました。一年生は新入学、また、二・三年生はクラス替えがあり新鮮な感じがありますね。記事でもあったように、一年生は少しでも早く伊敷中の生活に慣れるようにいろいろなことを学んで吸収してください。二・三年生は一年生をサポートするために先輩として周りを見て向を歩むべき自分たちを考えて行動しましょう。(宮ノ前那海)